

発行所：石川自治センター

発行者：石川自治センター長 大竹富雄

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより



ものづくり「レザークラフト教室」石川地区青少協



石川地区青少年健全育成推進協議会(瀬谷守夫会長)は、2月6日(土)石川自治センターでものづくり学習会「レザークラフト教室」新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて行った。昨年に続いてのものづくり教室には、石川小の男女18名(女子15名男子3名)が参加し



た。革製品のオーダーメイド販売を始め県内外でのイベント出店や教室開催で活躍しているSTEMキッズリーダー佐藤俊太氏(滝根町在住)を講師に招き行った。開会式において瀬谷会長より「楽しく、怪我の無いようにもものづくりをしましょう」と挨拶を頂いた。佐藤先生からは自己紹介後に製作開始となった。

製作工程は、コインケース、キーケース、グローブホルダーの3種類から一つを選択し色革素材選びと悩みながら、佐藤先生のアドバイスを受け決定した。次に、裏面を磨くことで作品の耐久力や型崩れがしないと佐藤先生から言われ、真剣に

ひたすら磨く姿に感動を受けた。次に、金具を付ける穴開け作業では、佐藤先生に目印を付けて頂き、ゴム板の上でハンマーとポンチで穴開け作業を行った。女子の方は普段行うことが無いようで苦戦している様子が見えた。穴を開けた部分に金具を止めて完成ですが、最後の金具打ちも、上手く打てず失敗しながらも、友達の手を借りながら作品を完成させ、満足げな笑顔がありました。佐藤先生からは、「慣れない作業で大変でしたが自分で作った世界に一つだけの素晴らしい作品ができました。」とお褒めの言葉を頂いた。皆さんにもものづくりの楽しさを実感して頂けた様ですね。後日、佐藤先生より破損や不具合等があれば対応しますとの連絡がありました。石川自治センター迄ご連絡下さい。



地域の支えあい。石川町生活支援体制整備事業協議体会議

25・26日の両日石川町役場において、生活支援体制整備協議体会議が新型コロナウイルス感染症予防の為、2日間に分け行われた。会議は、「地域の支えあい体制整備に向け目的の共有を図り、支え合いの必要性について理解し、町全体及び各地区の活動状況を共有する。」又、「高齢者の生活課題を抽出、支援の在り方の検討に繋げていく。」地域の高齢者を含む住民が安全・安心して生活出来る環境・仕組み構築。令和2年生活支援体制事業報告では、石川町の現状(人口、介護給付費、保険料)を把握。活動報告を町福祉課、社協小松氏、石川地区以外のコーディネーターから、地区の状況と今後の方向性について報告。今後の高齢者の生活課題について、出席者が意見を出し合いまとめた。これらの意見は、令和3年事業計画、支援活動にかされる。町全体の課題として、各福祉部会、石川地区区長、民生児童委員へ協力依頼があった。

石川・新田寿大学体力測定と閉校式

石川寿大学(永沼栄一委員長)・新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)の2学級は、2月学習会(テーマは「自分の体力を知る」体力測定)と令和2年度閉講式を行った。石川寿大学(永沼栄一委員長)は16日石川自治センターで24名(男性3名・女性21名)が参加して行った。新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は18日(木)新田ふれあいセンター14名(男性8名・女性6名)が参加して行った。2学級の1年間のまとめとして毎年実施している。

体力測定は、保健福祉課健康増進係根本雅子保健師(石川寿)、緑川真理子保健師(新田寿)佐川祐人主事(石川・新田寿)指導を受けながら行った。体力測定の前には日常生活テスト、現在の健康状態についてのアンケート記入も行った。測定3種目は、①握力(身体全体の筋力)②開眼片足立ち(足の筋力やバランス機能)③30秒椅子立ち上がり(下肢の筋力)

石川寿皆勤賞者 新田寿皆勤賞者

	氏名		氏名
1	草野チヨイ	1	小豆畑幸司
2	西牧 節子	2	大竹 キイ
3	千代田ハナ	3	棚瀬 栄一
4	矢吹 和代	4	迎 忠助
5	迎 コト	5	川島 悦子
6	高久田マサ	6	和気 タカ
7	永沼 栄一	7	五十嵐守三
8	吉田 クラ		
9	須藤マサ子		
10	舟木ユキエ		
11	有賀 清子		
12	渡辺シゲ子		

介護予防や日常生活機能の評価する目安となります。学級生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症防止で外出や運動する機会が減少していることから、数値の悪化が危惧される声も聞こえたが、2学級とも極端な数値の悪化はないようでした。「ラジオ体操を毎朝行い体調維持に努めています」と前向きに捉えている方もいた。保健師の皆さんからは、「コロナの中でも無理の無い運動、自分の体力に合わせて体を動かし、食事もしっかり摂り、心と体に刺激を与えましょう」と指導を受け学習会は終了した。閉講式は、



石川寿大学・新田寿健康大学体力測定の様子



石川寿大学・新田寿健康大学閉講式

学習会終了後行われ、大竹センター長より「コロナ禍の中、参加への労いと次年度も楽しい学習会をしましょう」と挨拶を頂いた。課題であった参加者も増加、皆勤賞者石川寿12名、新田寿7名、努力賞(1回休み)石川寿7名、新田寿5名。6月からの学習会となったが新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ開催、学級生が楽しく学習

会に参加されたことに感謝致します。

自治センター利用

まちなか工房教室は、少人数教室のみ新型コロナウイルス感染症予防を講じて、日中の教室参加者は、1名から3名で全員が町内からの参加者です。大人数の教室は、石川町外の参加者が多く、3月も休講を予定している。

南町サロンが25日約2ヶ月ぶりに7名が参加再開された。待ちにまったマスク着用、検温、消毒と感染防止対策を講じて参加している。夜間の自治センター利用は、3月7日(日)迄延長されています。

ごみ捨てダメ

自治センター北須川沿いの下屋にペットと空き瓶の袋が隠すように放置されていた。家庭ゴミか? 駐車場のポイ捨てか? ゴミ捨ては駄目ですね。

3月度行事予定*諸般の事情により日時・開催等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
9	火	寿大学委員長・副委員長会議 10:00 レディース委員長・副委員長会議 19:00	石川自治センター
10	水	企画推進員会議 18:00	石川自治センター
16	火	まちづくり三役会 18:00	石川自治センター
23	火	まちづくり委員会 18:00	石川自治センター



